



上末吉福祉だより

発行 上末吉地区社会福祉協議会 会長 渡辺 武

報告

研修会

「小田原市社協と“見守り”についての意見交換会」3/4 実施

「独居・高齢者の見守り」に取り組んでいる「小田原市社会福祉協議会」を上末吉各町会から39名が訪問しました。

渡辺会長から上末吉地区の「見守り活動」などの状況の説明の後、小田原市社協で行っている「高齢者の昼食会」「世代間交流事業」「地区情報誌発行」などの説明を受けました。

「地区住民が安心して生活することのできる福祉のまちづくりを心掛けています」とのお話をうかがいました。

上末吉地区で現在実施されている活動事業との共通点も多くありました。

研修会に参加した民生委員の感想として「男性が料理を作って提供する赤エプロン隊による

昼食会等は、新しい活動として参考になるのではないかなどの意見がありました。

* * *

午後からは、2011年に「横浜市みなとみらい」に体験型食育ミュージアム(愛称:カップヌードルミュージアム)として開館した施設を見学しました。世界初のインスタントラーメン「チキンラーメン」を発明し、世界の食文化を革新した日清食品創業者の安藤百福のクリエイティブシンキング(=創造的思考)を見て、触って、体感することが出来る施設でした。



巨大カップヌードルとキャラクターひよこちゃんと一緒に記念撮影

「フードドライブ」に上末吉地区社協が協力

食べ物に困っている家庭があります

鶴見区社会福祉協議会では、家庭などで余った未使用食品を集め、食べ物を必要としている家庭などに寄付する活動を行なっています。

1月に、梶山自治会の皆さんからいただいた缶詰やレトルト食品を鶴見区社協に届け、大変喜ばれました。皆さんの御家庭で協力いただけるものがありましたら、各町内会に届けていただきますようお願いいたします。

食品とは、賞味期限が2か月以上ある缶詰やレトルト食品です。

フードドライブとは? 各家庭で余った食品を持ち寄り、それを必要とする家庭などにフードバンクなどを通じて寄付する活動。





なくそう、子どもの虐待!!



調査報告します

オレンジリボンを知っていますか？

ピンクのリボンは乳がん対策のシンボルです。毎年10月1日の夜にレインボーブリッジなどがピンク色にライトアップされますよね。では、オレンジのリボンは？

オレンジのリボンは、子どもの虐待防止運動のシンボルです。でも、ピンクリボンほど知られていないかもしれません。

今年1月、2月は痛ましい、子どもの虐待による死亡事件が相次いで起こり、報道に接して、私たちの多くがため息をつきました。なんとか、助けられなかったのか？と思うことしきりです。

命を落とさないまでも、いまま虐待によって心を痛めつけられている子どもたちがきつといるに違いないと思います。私たちには直接関与は難しいのですが、子どもたちを守る手立てはないか、地域に暮らす普通の人としてできることがなにかあるのか、考えてみましょう。



子どもの”虐待”はどのくらい起きているの？

今、日本では、1週間に一人の子どもが虐待で命を落としています。

児童相談所での相談対応件数も年々増加しており、1990年には1101件だったのが、昨年度には13万3778件で、28年間で121倍になっています。児童虐待防止法は2004年に改正されて通告義務が定められましたが、この年に特に相談件数が増えたわけではないので、121倍という数字は虐待が増加しているという実態をそのまま反映していると考えられます。「子どもは国の宝」と言われるけれど、現状では「たからもの」とは思えません。いじめやパワハラなど、大人の社会も子どもの社会も多くの問題を抱えているといえます。

虐待した親は「躰(しつけ)」だと主張します。「躰」というとすべて許されるような雰囲気がかたしかに社会の中にあります。「子どものしつけが悪い」というのは、親に対する非難の言葉です。

でも、しつけて何でしょう。虐待の結果、子を死に至らしめるのは、しつけが「行き過ぎた」結果なのではないでしょうか？容疑者である親の虐待の実態がニュースで流れてきますが、その内容が「しつけ」であるとは、多くの人が思わないでしょう。

問題は、親の子に対するある行動が「しつけ」であるかどうかではないような気がします。虐待は暴行です。「暴力はダメ」といえば誰もが賛成するでしょう。そこから考えたらどうでしょうか？基本的には暴力を含まないしつけを目指せばよいのではと思います。



そもそも「しつけ」って？

奈良県のホームページに、「どこまでが『しつけ』で、どこからが『虐待』??」という記事がありました。それによると、「『虐待』は大人が自分の感情にまかせて子どもを力でコントロールしようとする事」、「『しつけ』は、保護者が感情にまかせて子どもをコントロールすることではなく、子どもが自分で自分の感情や行動をコントロールできるよう落ち着いて教えること」とありました。

子どもが言うことを聞いてくれなくてイライラする事もありますが、そんなときに親が落ち着くヒントが載っていました。深呼吸をする、水を飲む、10まで指おり数える、などの他、電話をするのも気分転換でよいそうですよ。いつでも、だれでも、落ち着かなくちゃというときに使える方法ですね。

悲しい「虐待」をなくすために、私たちにもできること



*子どもの虐待を知ったら通告しなければならない

2004年に改正された児童虐待防止法の第6条に
児童虐待を受けたと思われる児童を発見した者は、速やかに、これを市町村、都道府県を設置す

る福祉事務所若しくは児童相談所又は児童委員を介して市町村、都道府県の設置する福祉事務所若しくは児童相談所に通告しなければならない。とあります。つまり、子どもの虐待を見た人は福祉事務所か児童相談所か児童委員に通告しなければなりません。さらに、第7条では、福祉事務所や児童相談所、児童委員は通告した人を特定できるようなことを漏らしてはいけないとあり、通告者を守る規定になっています。

児童相談所全国共通ダイヤルもあります。

「虐待かなと思ったら、☎189」です。



***子どもたちを見守ろう**

誰でもできること、それは、地域の子どもたちと“仲良くなる”ことではないでしょうか？

同じまち(ご町内)に住む小学生の下校時に出会ったら「おかえり」と声をかけますが、怪訝そうな顔をしてこちらを見て行ってしまうことがあります。知らない人から声をかけられたら相手しちゃうダメと言われているのでしょうか。これも大切な身を護るためのしつけです。でも、懲りずに声をかけます。ここに住んでいる人だと分かれば、挨拶も返ってくるようになりますよ。

たとえ「子ども110番の家」があっても、そこに住んでいる人を知らなければ、子どもはいざというときに飛び込みにくいでしょう。ですから、日頃からの挨拶はとても大切です。いつも見守ってくれる大人がいることを、子どもたちに知ってもらいましょう。

地域の中では、高齢者が中心になって、下校時の見守り活動を続けているところもありますよね。地道だけど、大切な活動だと思います。子どもの見守りは、親御さんたちにとってもありがたいことでしょう。

***子育て中のママやパパの味方になろう**

慣れない子育てで疲れているお母さんやお父さんたちを支えるのも大事なことです。子育てが上手でない大人もいるし、育てにくい子もいます。人付き合いの上手な人もそうでない人もいます。いろんなひとがいるのが人間の社会。得意なことがある人が助けるのもあります。

***みんなで考えよう**

知人のまだ若い娘さんが市の職員になり、志願して児童相談所で働いているそうです。知人夫婦は西日本の郷里に戻り、娘さんはこちらでひとり暮らしです。ときどき知人の元に電話があり、知人はいても立ってもいられず西日本から娘のところに駆けつけるそう。児童相談所では様々な厳しい状況にある子どもたちの相談支援をしていますが、夜、役所に戻って報告書を作成していると、また別の担当している子どものことで現場に出ているかなければならないことしばしばだそうです。知人は母として、娘の心身の健康を気遣っています。児童相談所は圧倒的に人員不足です。

この娘さんの話を聞き、問題の対応に追われている児相を非難するだけではとても解決のつかない大きな社会問題が広がっていることを実感しました。ですから、私たちも、地域の幸せのために、各自ができることを少しずつやれたらいいと思います。ぜひ、地域のお友だちと、子どもの虐待を防ぐためにできることを話してみてください。

虐待を見たら：児童相談所全国共通

ダイヤル ☎189

子育ての悩み相談：

社会福祉法人「子ども虐待防止センター」☎03-5300-2990

住民一人ひとりが地域の子どもたちを見守ることが大切です



あいねっとの活動展示 (区役所1階)

16 上末吉地区

◆◆ 上末吉地区の年齢別人口の比較 ◆◆

※区別人口については、統計上の誤差があり、実数と一致しない場合があります。出典「国勢調査ポータルサイト」(高齢化率＝65歳以上人口 総人口)

	0~14歳	15~64歳	65歳以上	総人口	高齢化率
現在 (H30.3.31)	2,114人	9,599人	3,802人	15,515人	24.5% (区平均21.0%)
5年前 (H25.3.31)	2,336人	9,828人	3,432人	15,596人	22.0%

上末吉地区

◆◆◆ 上末吉地区の計画 (H28年度から5年期) ◆◆◆

交流を深め、ささえあう、住みよい上末吉地区を目指して

目標1 既存の行事や活動を充実させて、世代をこえたつながりをつくろう

目標2 日頃の交流を深めよう

目標3 日頃の交流を、見守り・支え合いの輪に広げよう

◆◆◆ 上末吉地区のニュース ◆◆◆

金曜えがお亭
(上末吉地区社会福祉協議会主催)
場所：上末高2丁目公民館
日程：毎月第1金曜日 10時~12時
(5~11月限定)
参加費：1回200円

すえよしいきいきサロン
(延保づくりステーション)
場所：末吉地区センター1階
日程：毎月第3木曜日 10時~12時
参加費：1回100円

報 告

「ボッチャ大会」 12/16 (日) 開催

共催 上末吉地区連合・地区社協・あいねっと推進チーム
恒例の各町内会対抗のボッチャ大会が開催されました。

3世代交流を目的に、1チーム3名(こども・大人・お年寄り)で24チームが参加し、熱戦が繰り広げられました。

一番熱が入っていたのはお年寄りで、こどもたちに熱心に教えていました。

優勝チーム

上末吉三丁目町内会 2チーム

上末吉四丁目町内会

梶山自治会



予 定

**「歩け歩け大会」
4/14 (日) 9時集合**

集合場所：末吉神社
⇒三ツ池公園⇒横溝屋敷⇒駒岡小学校⇒
兜塚⇒上末吉小学校
約3時間

炊き出し訓練参加後に解散
こどもから大人まで、ご近所さん誘い合
ってご参加ください。

自由参加
申込不要
小雨決行



**「三ツ池公園フェスティバル」
5/18 (土) 9時半～**

3大区民祭りの一つとして毎年実施
青空のもと楽しい催しがいっぱい！
模擬店・ステージ・フリーマーケットな
どなど…。こども向け新企画として
◆ラグビー体験コーナー◆科学実験コ
ーナーが加わり

上末吉地区婦人部
も出店。フランク
フルトとビールを
販売します



昨年の出店の様子



カ

レ

ン

ダ

ー



- 4月 5日 (金) 金曜えがお亭
- 4月 14日 (日) 歩け歩け大会
- 4月 15日 (月) ぽんぽこりん広場
- 4月 19日 (金) やよい会
- 5月 17日 (金) やよい会
- 5月 18日 (土) 三ツ池公園フェスティバル
- 5月 20日 (月) ぽんぽこりん広場
- 5月 24日 (金) 老人の集い

- 6月 7日 (金) 金曜えがお亭
- 6月 17日 (月) ぽんぽこりん広場
- 6月 21日 (金) やよい会
- 7月 5日 (金) 金曜えがお亭
- 7月 19日 (金) やよい会
- 7月 22日 (月) ぽんぽこりん広場
- 7月 26日 (金) 老人の集い